

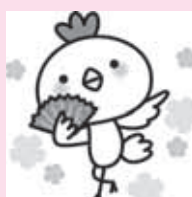
私たち 酉(とり)年 生まれ

新年あけましておめでとうございます。

今年の干支は丁酉（ひのととり）。

酉年生まれのご家族などにご登場いただき、新年の抱負などをお伺いしました。

お忙しい中、取材にご協力いただいた皆さま大変ありがとうございました。



**ぼくたち、わたしたち
平成17年生まれの酉年です！**





<佐々木家>

とみこ 富美子さん (昭和20年) ゆきたか 行隆さん (昭和20年)

ご夫婦共に、雄大な田園風景に妹背牛を感じると言います。冬場はカーリンホールで仲間たちと元気にカーリングを楽しむ行隆さん。一方の富美子さんは、パッチワークでカラフルな色の組み合わせを楽しみます。しかし、もともと身体を動かすのが大好きで、ご自身の健康のことも考えて今年こそは何か運動してみたいと思っています。夏場はガーデニングに精を出し、毎年素敵なお庭を作っています。そんな奥様の影響なのか、行隆さんはこの夏、野菜作りに挑戦したいと思っています。あと数年で金婚を迎えるという佐々木さんご夫妻の今一番の楽しみは、かわいい盛りのお孫さんです。次の酉年まで夫婦共に元気で暮らし、その成長ぶりを見守っていきたくて願っています。

8度目の酉年を迎えた新谷さん、御年96歳。長い間、お店を切り盛りし、住民の皆さんとふれあって来ました。今は息子さんにお店を任せ、悠悠自適の生活を送っています。

田植え後の青々とした田んぼの風景に生命力を感じるそうです。今は、奥様との時間を大切にし、読書やテレビを楽しんでいます。毎日の散歩が日課で、良く食べ、早寝早起きをする。特別なことは何もしていないと言います。

「96歳まで生きてこれで、みんなに感謝したい」と話す良一さん。24歳で戦死した同級生の分まで元気に生きようと新年を迎えるたび強く思っています。周りに迷惑をかけないように、夫婦二人で生きていきたいと願っています



<新谷家>

りょういち 良一さん (大正10年)



<橋向家>

みづき 美月さん (昭和56年) としかつ 利勝さん (昭和44年)

農家のお仕事もひと段落する冬場、ご夫婦でカーリングを楽しむ年の差カップル。石狩川の堤防から見た田園風景が大好きで、ご自身が企画して年に1、2回町内で行う音楽イベントが楽しく、町内の皆さんにも是非見に来てほしいそうです。いつもバタバタしているので効率よく仕事や予定をこなすことが新年の目標と話す美月さん。そんな行動派の奥様を優しくサポートする利勝さん。家から見える四季折々の音江山の風景に癒されるそうです。冬場はカーリングを子どもたちに教えたり、ご自身も大会に出場されたりと目一杯楽しみます。家族ともども良い1年になればと、ご家族を思う温かな笑顔が印象的でした。

※お名前は、写真左側の方から掲載させていただきました。括弧内は、生まれ年です。